

『ひとめぼれ』栽培こよみ

この度、八重山地区水田作研究会が中心となって八重山地域における水稲「ひとめぼれ」の栽培こよみが完成しました。内容は、生育ステージごとの水管理・栽培管理のポイントが、写真を取り入れカラフルに仕上がっています。種子消毒法が

ら病害虫の防除法・施肥法まで示してあり、これ一枚で、ひとめぼれの栽培方法がわかるようになっています。

また、超早場作・1期作・2期作別に各生育期間の月日が参考できるようになっています。

播種-育苗-本田準備期間		生育成長期間		収穫成長期間		収穫						
水管理	灌水	中干し	中干し	中干し	中干し	中干し	中干し					
生育ステージ	作型	播種期	育苗期	日積期	中干し	中干し	幼穂形成期	穂伸長期	出穂期	実熟期	刈取期	本日照り
		27日	27日	41日	10日	10日	29日	29日	32日	32日	109日	
		24日	24日	35日	10日	10日	26日	26日	31日	31日	102日	
		12日	12日	21日	9日	9日	25日	25日	28日	28日	85日	

ひとめぼれ栽培の留意点
<p>【水田の水管理】</p> <p>水田の水管理は、稲の生育に大きく影響します。適切な水管理を行うことで、稲の生育を促進し、収量を向上させることができます。</p>
<p>【肥料の施用】</p> <p>稲の生育に必要な栄養素を供給するために、適切な肥料の施用が必要です。肥料の施用時期と量を適切に調整することが重要です。</p>
<p>【病害虫の防除】</p> <p>稲の生育期間中に発生する病害虫を予防し、被害を最小限に抑えることが重要です。適切な防除剤の施用と防除時期の把握が必要です。</p>
<p>【収穫のタイミング】</p> <p>稲の生育が完了し、適切な収穫時期を迎えたときに収穫を行うことが重要です。収穫時期が遅れると、収量が減少する可能性があります。</p>

※八重山農業改良普及センター、JAおきなわ八重山地区営農センターで配布予定です。

農業機械の安全使用で無事故を目指そう！

～ 農業機械士の活動紹介 ～

八重山地区農業機械士協議会の会員は去年より9名増え現在は68名です。

主な活動は、技能向上を図る目的で行うエンジンの分解整備、農作業事故防止の啓発活動、トラクターの保守管理共励会、技能向上研修です。

今年度の技能向上研修は、8月13日に波照間島で、10月17日に石垣市(嵩田)で実施しました。情報・技術向上研修会は南北大東村の機械利用整備状況と、大東村機械士との交流を目的に実施しました。

大東島の厳しい自然環境のなかで農業に取り組んでいる姿に対し、敬意と自己啓発の必要性を強く感じました。交換会では両支部の会員がお互いの技術と情報の交換ができ有意義な研修でした。

今年で2回目になります。農業機械の保守管理共励会の方法は、トラクター等農業機械の整備状況、格納庫内の整理整頓等を審査表に基づいて審査し、その結果を本人に通知し事故防止の啓発を行っています。

ます。

しかし残念なことに、八重山管内で去年の11月中旬に農作業事故が発生しました。事故は一瞬の油断で起こることが多く、本人の注意の喚起だけでは十分ではありません。

機械士協議会としては事故が発生した場合の経済的な負担のことも考え、トラクター傷害共済の加入促進を図るための啓蒙活動を年間を通して行っています。

農業機械を扱っている機械士でまだ加入していない方は自分と家族のためにも、トラクター傷害共済の加入をお勧めしています。

これからの農業機械士協議会の活動として、従来の活動をより発展させ、地域ごとに農作業安全講習会を機械士が中心になって実施できるような体制を作り上げ機械士の更なる技能向上と、農作業の事故防止に取り組んでいく必要を強く感じています。